

道北若力会との意見交換概要

日時： 平成30年6月12日 15:00～

場所：旭川市 トーヨーホテル 2F

意見概要：

1. 災害について

- 1) 道路切土法面土砂崩壊現場では、現地立ち入りの厳しい状況で、ドローンを使って現地撮影を行い、平面縦横断面図を作成した。
また応急復旧にむけて、2日間という日程で調査を迅速に行えた。
- 2) 延長の長い、河川河岸・堤防崩壊の現場ではドローン・3D スキャナ観測器の併用により、迅速にかつ、高い精度で調査を行えた。
また、ドローンは被害全容把握報告を適切で迅速に行うのに役にたった。
いっぽうで、観測精度を上げるため、笹刈払いなどの作業は従来通り必要で、デジタルな作業と体力が必要なアナログな作業が混在する。

2. 人材確保育成について

- 1) 若手職員には、興味のある仕事の部分を積極的に任せて、やりがいを持たせているが、一方で、興味のない部分の仕事には、かかわっていく気持ちが極端に薄いのが悩み。
- 2) ハローワークを介した、通常の求人活動では、条件にもよるかもしれないが、なかなか人があつまらない。
- 3) 地方自治体も技術者の不足があげられているが、地方自治体が民間人の中途採用をおこなっているなかで、働きざかりのコンサル職員が地方自治体に再就職する状況もあり、この状況は民間側も厳しい。
- 4) 業界PRや企業説明会について、生徒や学生だけではなく、父兄や学校の先生にも、業務の内容ややりがいを伝えていく必要がある。先生も業務の中身をあまり知らない人が多い。



意見交換会全景